



2019年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月5日

上場会社名 立川ブラインド工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7989 URL http://www.blind.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)立川 光威
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長 (氏名)栗原 斉 (TEL) 03(5484)6142
 四半期報告書提出予定日 2019年11月5日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第3四半期の連結業績(2019年1月1日~2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第3四半期	31,437	9.8	3,479	43.2	3,510	43.1	2,202	43.8
2018年12月期第3四半期	28,624	△3.1	2,429	△15.8	2,454	△15.8	1,531	△15.7

(注) 包括利益 2019年12月期第3四半期 2,405百万円 (61.7%) 2018年12月期第3四半期 1,487百万円 (△28.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第3四半期	113.18	—
2018年12月期第3四半期	78.68	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年12月期第3四半期	54,351	41,393	68.1
2018年12月期	53,046	39,578	66.5

(参考) 自己資本 2019年12月期第3四半期 37,008百万円 2018年12月期 35,283百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期	—	5.00	—	18.00	23.00
2019年12月期	—	10.00	—	—	—
2019年12月期(予想)	—	—	—	16.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年12月期の連結業績予想(2019年1月1日~2019年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,200	8.0	4,100	11.5	4,150	10.8	2,550	9.9	131.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2019年12月期3Q	20,763,600株	2018年12月期	20,763,600株
② 期末自己株式数	2019年12月期3Q	1,305,925株	2018年12月期	1,305,282株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2019年12月期3Q	19,458,037株	2018年12月期3Q	19,458,667株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想の前提となる条件等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境の改善が見られるものの、消費増税に伴う個人消費への影響や、米中貿易摩擦激化による世界経済の悪化が懸念されるなど、先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループ関連の建設・住宅業界においては、各種政策効果による下支えが続くものの、人口の減少や高齢化により新設住宅着工戸数は年々減少傾向となっており、物流コストの上昇などの要因も加わり厳しい環境が続いております。

このような環境の下、室内外装品関連事業においては、顧客満足度の高い製品の開発および新製品の市場浸透を促進するとともに、コスト低減活動や生産性の向上を継続し、収益改善に取り組んでまいりました。

また、駐車場装置関連事業においては、主力製品である『パズルタワー』に重点を置いた営業を図り、コスト競争力の強化を推進し、収益改善に努め、減速機関連事業においては、保有技術を活かした製品開発に取り組み、特殊製品による成長分野への積極的な提案営業を行い、受注獲得に努めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は31,437百万円（前年同期比9.8%増）、営業利益は3,479百万円（前年同期比43.2%増）、経常利益は3,510百万円（前年同期比43.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,202百万円（前年同期比43.8%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

[室内外装品関連事業]

他社との差別化を図るべく、高い遮蔽性を持つ『パーフェクトシルキー』に、安全性・操作性に優れた「チェーン操作」を採用した『パーフェクトシルキーチェーン』と、リモコン操作やスマート家電リモコンとの組み合わせによりスマートスピーカーやスマートフォンで操作可能となる電動の『パーフェクトシルキーホームタコス』をラインナップいたしました。

また、業界初の上分割制御機能を付加した電動ヨコ型ブラインド『ローリーESSクワトロタコスⅡ』や、ブラケットを通過する新しいランナー「スルーランナー」を採用した装飾カーテンレール『ヒューグライド』『ビレッタグライド』の発売など、付加価値と機能性を追求した製品の開発、販売に注力したほか、全国規模での新製品発表会を開催し、新製品の市場浸透や市場の拡大にも取り組んでまいりました。

以上の結果により、売上高は25,838百万円（前年同期比5.6%増）となりました。営業利益につきましては、原材料価格の高騰や、物流コストの上昇があったものの、コスト低減活動等による収益改善に努めた結果、3,034百万円（前年同期比33.7%増）となりました。

[駐車場装置関連事業]

『パズルタワー』や『スーパーパズル』（大規模地下駐車場）の大型物件を計上したことで、売上高は2,961百万円（前年同期比95.4%増）となりました。営業利益につきましては、資材価格等の上昇傾向が続くなか、選別受注と原価低減活動に取り組んだ結果、309百万円（前年同期比2,202.5%増）となりました。

[減速機関連事業]

国内外の設備投資動向が堅調に推移するなか、シャッター開閉機用減速機の受注が堅調に推移したことにより、売上高は2,637百万円（前年同期比0.1%増）となりました。営業利益につきましては、継続的な原価低減活動に努めましたが、外注費他、諸経費の増加を補えず、136百万円（前年同期比6.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は54,351百万円で、前連結会計年度末と比較し1,305百万円の増加となりました。

(資産)

流動資産は36,144百万円で、前連結会計年度末と比較し583百万円の増加となりました。これは主に、現金及び預金や受取手形及び売掛金、棚卸資産が増加したことによるものであります。

固定資産は18,207百万円で、前連結会計年度末と比較し721百万円の増加となりました。これは主に、有形固定資産及び無形固定資産の取得による増加や、投資有価証券の取得による増加によるものであります。

(負債)

負債は12,958百万円で、前連結会計年度末と比較し509百万円の減少となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産は41,393百万円で、前連結会計年度末と比較し1,814百万円の増加となりました。これは主に、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により増加したことによるものであります。なお、自己資本比率は68.1%と、前連結会計年度末と比較し、1.6ポイントの増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、消費税引き上げによる消費減退や米中貿易摩擦激化による世界経済の悪化が懸念されますが、当社グループ関連の建設・住宅業界におきましても、個人消費の低迷や住宅着工の見通しなど、先行き不透明感が続くものと予想されます。

このような環境の下、室内外装品関連事業におきましては、お客様の視点に立った新製品開発や営業活動、リフォーム需要の獲得強化、非住宅市場での拡販および収益力の強化に取り組むことで既存事業領域を深耕していくとともに、ホテル需要や海外市場等、成長分野への取組みを強化することで、さらなる売上拡大・収益確保に努めてまいります。駐車場装置関連事業におきましては、主力製品「パズルタワー」の物件獲得に注力し、付随する改造・改修、メンテナンス需要を獲得してまいります。減速機関連事業におきましては、当社が強みとする特殊減速機を中心に積極的な提案営業を展開してまいります。

これらを踏まえ、2019年12月期の通期の連結業績予想につきましては、現時点において2019年2月7日に公表しました予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,186,657	14,344,241
受取手形及び売掛金	14,317,016	14,765,643
商品及び製品	644,696	762,304
仕掛品	1,411,843	1,460,160
未成工事支出金	388,060	177,403
原材料及び貯蔵品	3,630,772	3,880,290
その他	993,791	768,174
貸倒引当金	△11,815	△13,979
流動資産合計	35,561,024	36,144,237
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,292,846	13,396,485
減価償却累計額	△9,224,329	△9,415,043
建物及び構築物(純額)	4,068,517	3,981,442
土地	7,444,602	7,444,602
その他	14,976,659	15,182,433
減価償却累計額	△13,620,203	△13,728,155
その他(純額)	1,356,456	1,454,278
有形固定資産合計	12,869,576	12,880,323
無形固定資産	394,152	503,816
投資その他の資産		
投資有価証券	1,645,707	2,200,644
退職給付に係る資産	345,272	344,072
その他	2,425,727	2,396,670
貸倒引当金	△194,822	△117,950
投資その他の資産合計	4,221,884	4,823,437
固定資産合計	17,485,613	18,207,578
資産合計	53,046,638	54,351,815

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,737,524	6,182,256
未払法人税等	859,936	666,212
賞与引当金	222,044	641,433
役員賞与引当金	69,080	50,500
製品保証引当金	12,490	22,049
工事損失引当金	2,866	-
その他	1,864,106	1,729,052
流動負債合計	9,768,049	9,291,506
固定負債		
役員退職慰労引当金	374,500	382,278
退職給付に係る負債	3,126,386	3,113,928
その他	198,808	170,988
固定負債合計	3,699,695	3,667,194
負債合計	13,467,744	12,958,700
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,475,000	4,475,000
資本剰余金	4,395,016	4,395,016
利益剰余金	27,128,462	28,785,969
自己株式	△670,376	△671,195
株主資本合計	35,328,102	36,984,791
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	240,022	278,083
繰延ヘッジ損益	△776	1,027
為替換算調整勘定	33,630	18,188
退職給付に係る調整累計額	△317,598	△273,603
その他の包括利益累計額合計	△44,722	23,696
非支配株主持分	4,295,514	4,384,627
純資産合計	39,578,894	41,393,114
負債純資産合計	53,046,638	54,351,815

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年9月30日)
売上高	28,624,675	31,437,013
売上原価	16,083,372	17,707,764
売上総利益	12,541,303	13,729,249
販売費及び一般管理費	10,112,039	10,249,424
営業利益	2,429,263	3,479,825
営業外収益		
受取利息	806	946
受取配当金	33,740	43,110
不動産賃貸料	26,863	26,781
その他	47,486	50,980
営業外収益合計	108,896	121,818
営業外費用		
支払利息	14	16
売上割引	61,685	63,555
為替差損	8,170	16,560
その他	14,222	10,630
営業外費用合計	84,093	90,761
経常利益	2,454,066	3,510,881
特別利益		
固定資産売却益	846	-
特別利益合計	846	-
特別損失		
固定資産除売却損	3,486	1,987
特別損失合計	3,486	1,987
税金等調整前四半期純利益	2,451,426	3,508,894
法人税、住民税及び事業税	912,290	1,277,171
法人税等調整額	△42,287	△103,858
法人税等合計	870,002	1,173,313
四半期純利益	1,581,423	2,335,581
非支配株主に帰属する四半期純利益	50,406	133,244
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,531,017	2,202,336

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	1,581,423	2,335,581
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△152,860	37,339
繰延ヘッジ損益	148	1,804
為替換算調整勘定	△10,379	△15,442
退職給付に係る調整額	69,212	45,739
その他の包括利益合計	△93,878	69,441
四半期包括利益	1,487,545	2,405,022
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,447,370	2,270,755
非支配株主に係る四半期包括利益	40,174	134,266

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	室内外装品 関連事業	駐車場装置 関連事業	減速機 関連事業			
売上高						
外部顧客への売上高	24,472,614	1,515,496	2,636,563	28,624,675	—	28,624,675
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	83,916	83,916	△83,916	—
計	24,472,614	1,515,496	2,720,480	28,708,592	△83,916	28,624,675
セグメント利益	2,269,981	13,421	145,860	2,429,263	—	2,429,263

(注) 1 セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	室内外装品 関連事業	駐車場装置 関連事業	減速機 関連事業			
売上高						
外部顧客への売上高	25,838,033	2,961,006	2,637,972	31,437,013	—	31,437,013
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	95,560	95,560	△95,560	—
計	25,838,033	2,961,006	2,733,533	31,532,573	△95,560	31,437,013
セグメント利益	3,034,712	309,025	136,087	3,479,825	—	3,479,825

(注) 1 セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。